



ながわまち

令和8年2月1日発行

第81号

議会だより

● 長和町議会 令和7年12月定例会

- ◇ 議長・副議長就任挨拶 2
- ◇ 新議会構成 4
- ◇ 常任委員会審査報告 5
- ◇ 一般質問 9
- ◇ 議会懇談会 18
- ◇ 一部事務組合議会報告 22
- ◇ 議会モニター募集他 23
- ◇ 長和町「あの人を訪ねて」 24

■ 発行 / 長野県小県郡長和町議会

■ 編集 / 広報広聴常任委員会



初議会

議員選
挙後の
臨時会

議長に原田恵召議員、 副議長に田福光規議員が選出されました。

議長就任挨拶 原田 恵召

昨年の12月1日に行われました、議会臨時会の議長選挙において、議長に選出されました原田恵召でございます。申し合わせにより二年間務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。議長に就任するのは、20年前の長和町合併の時からで2度目となります。

議長選挙にあたりまして、候補者が一人であっても立候補の所信表明をすることにより、新議長が何を考え何をしたいのかを議場で発言する申し合わせなっております。その時に申し上げた全文を記載しご挨拶と致します。



10番 原田 恵召 (7回)
議長

大門上ノ二 / 64歳

■「実るほど頭を垂れる
稲穂かな」

人間も世間の荒波に耐え、
秋にはたわわに実り感謝
の心をもって頭を垂れる
よう精進してまいります。

「立候補にあたり3つの改革を訴えてまいります。

まずは、①ハラスメント条例の制定または議会基本条例の中に倫理規定として追加していきたいと考えています。パワハラ、セクハラ、カスハラなどは人権侵害だけでなく、対象者の生活を変えてしまふ、悪質なものです。他者には目に見えないだけに深刻な問題だと考えています。これについては、この先1年を目安に条例整備していきたいと思えます。

さらに、②自由討議を検討していきたいと思えます。議員が賛成・反対を自分の言葉で表明するのは大切なことです。

次に、③議会活動における託児施設や託児していただく人の環境整備が必要と思えます。子供が会議にいても自然と思える環境整備が必要です。その為、議会傍聴規則の見直しも必要と思えます。

まずはこの3点について申し合わせ任期の2年間で取組、改善したいと思えます。

議員各位には、議員力の向上と議会力の向上のために、ご理解とご協力をたまわり、信頼される議会の為力を合わせて改革を進めてまいります。しょう。」

副議長就任挨拶 田福 光規

12月の臨時議会において副議長に就任いたしました。昨年の町議選で30歳代、40歳代などの若い議員の方4名が新たに加わり、議会の構成も大きく変わりました。私が最年長者となりましたので、若い議員の方々のエネルギーも頂きながら、議会のまとめ役としての役割を果たしたいと思えます。私の目標は、第1に、議会力の向上です。議員全員の力量向上に取り組みと共に、議会全体の力量を向上し、政策立案や提言、条例の提案ができる議会をめざします。第2に、町民の皆さんに開かれた議会の取り組みを進める事です。前期は、議会だよりモニター・議会モニターの取り組み、年2回の議会報告懇談会などの取り組みを行ってきました。今後ともこれらの取り組みを継続・発展させて、開かれた議会をめざします。第3は、原田議長を補佐して、副議長の役割を果たす事です。副議長として、町民の皆さまの期待に応えるべく全力で努めてまいりますので、皆さまのより一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

新しい長和町議会議員です。

議席番号 氏名(当選回数) / 議会役職
地区 / 10月31日現在の年齢 / 任期4年の抱負

9番 田福光規 (3回)
副議長



大門姫木第1 / 74歳
■「国の悪政にキッパリ対決!」「町民のいのちと暮らしが第一」をモットーに、町民のみなさんの要望の実現の為に全力でがんばります。

8番 佐藤恵一 (3回)
総務経済常任委員長



大門新屋 / 64歳
■「にぎやかな過疎をつくる」人口減少高齢化の進展、それでも新しい動きが生まれ人が集まり、活動が活発な町をつくり、次世代にバトンを渡す。

7番 荻野友一 (2回)
議会運営委員長



大門四泊 / 66歳
■二期目を迎え、町民の皆様と行政を結ぶ太いパイプとなることを目標にして、町政の発展のために議会の改革を目指し邁進してまいります。

6番 龍野一幸 (2回)
広報広聴常任委員長



古町上宿 / 66歳
■「人は岩になれ、けれど、心は華になれ」自然を活用し、後世につなぐ魅力ある町の再生と創生に尽力します。初心を忘れずに!

5番 阿部由紀子 (2回)
社会文教常任委員長



和田中組 / 53歳
■「喜びは創り出すもの」人口減少の時代、共助の力が問われています。行政任せにせず、町の未来を町民と共につくる。その追い風となる議員を目指しています。

4番 城内たき子 (1回)
社会文教常任副委員長



古町上落合 / 65歳
■「年齢を重ねても、单身でも、ずっと安心して暮らしていける長和町」を目指します。好きな言葉は「ご機嫌に暮らす・生きる」です。

3番 小川法樹 (1回)
総務経済常任副委員長



和田新田 / 50歳
■様々な情報を見て聞いて学び理解し、それを生かし笑顔あふれる住みよい町をめざし町民の皆様と町との橋渡しが出来よう努力していきます。

2番 高田 傑 (1回)
総務経済常任委員



長久保6区 / 48歳
■移住者だからこそ気付く長和町の魅力を掘り起こし、町民の皆様のお声を具現化し「次の長和町へ!」を目指して、精進して参ります。

1番 諫山三武 (1回)
社会文教常任委員



和田 仮宿 / 37歳
■「町にもっと人の流れをつくる」30代・子育て世代・移住者の目線を活かし、町に活気を生み出すキッカケづくりに取り組みます。

議席



諫 山 三 武 議 員	一 番	高 田 傑 議 員	二 番	小 川 法 樹 議 員	三 番	城 内 た き 子 議 員	四 番	阿 部 由 紀 子 議 員	五 番	龍 野 一 幸 議 員	六 番	荻 野 友 一 議 員	七 番	佐 藤 恵 一 議 員	八 番	田 福 光 規 議 員	九 番	原 田 恵 召 議 員	十 番
----------------------------	--------	-----------------------	--------	----------------------------	--------	---------------------------------	--------	---------------------------------	--------	----------------------------	--------	----------------------------	--------	----------------------------	--------	----------------------------	--------	----------------------------	--------

新議会構成

議長	原 田 恵 召	副議長	田 福 光 規
総務経済常任委員会		社会文教常任委員会	
委員長	佐藤 恵一	委員長	阿部由紀子
副委員長	小川 法樹	副委員長	城内たき子
委員	高田 傑	委員	諫山 三武
	荻野 友一		龍野 一幸
	原田 恵召		田福 光規
所管	総務課・総合政策課・産業建設課・議会事務局の所管に関する事項の調査及び議案、請願・陳情等の審査	所管	住民生活課・保健福祉課・教育委員会の所管に関する事項の調査及び議案、請願・陳情等の審査
議会運営委員会		広報広聴常任委員会	
委員長	荻野 友一	委員長	龍野 一幸
副委員長	田福 光規	副委員長	諫山 三武
委員	佐藤 恵一	委員	田福 光規
	阿部由紀子		佐藤 恵一
	龍野 一幸		阿部由紀子
所掌	議会の運営、議会会議規則、委員会条例、議長の諮問に関する事項等の審査	所管	議会広報広聴活動に関する事項

総務経済常任委員会審査結果報告



佐藤 恵一 委員長

総務経済常任委員会は、12月17日に委員会を開催し、条例案、令和7年補正予算などについて審査を行い、全員賛成で可決すべきものものと決定されました。

総務経済常任委員会

- 委員長／佐藤 恵一
- 副委員長／小川 法樹
- 委員／高田 傑
- 萩野 友一
- 原田 恵召

令和7年度長和町一般会計補正予算(第4号)について

総務課

■ 公共交通事業(地方創生事業) 6万6千円増

問 公共交通活性化協議会開催について今後の開催予定、内容はどのようなものか。

答 協議会を設立したのち、地域公共交通計画を承認頂くため開催を予定。来年度以降についても「デマンドバスながわごん」など町の公共交通の運行状況等を説明したり、計画内容の見直しをしたりという中で開催を予定しています。

■ 基幹系システム共同化負担金 2358万1千円減

問 公共交通活性化協議会開催について今後の開催予定、内容はどのようなものか。

答 基幹系福祉関連のシステムは(株)富士通の開発遅延により令和7年10月に標準システム移行ができず令和8年10月頃移行となったため減額補正となった。

■ 長期総合計画策定支援業務委託料 73万7千円増

問 策定のためのアン

ケートは今年度中に
行うのか。

答 アンケートは今年度中に発送までを完了させる予定です。集計等は来年度実施

します。業務委託先についてはプロポーザル方式で選定予定です。

■ コミュニティ助成事業(機械機器購入費) 26万1千円減

問 当町の支援枠はどのくらいあるのか。

答 市町村の枠や上限額は特に設けられていません。町民から

各部署へ要望があり、その要望を各部署・企画政策係で精査した上で条件を満たすものは一般財団法人自治総合センターへ申請しています。

■ 林務職員人件費 800万円減

問 人件費減額の経緯は。

答 当初で2名分の人件費を計上していた

が、業務内容の割り振りを行った結果、1名分が減額となりました。

(抜粋)

長和町火入れに関する条例の一部を改正する条例について

問 林野火災に関する

注意報は全国的に定めているものか。

答 全国的に定めることとされており、この地域では上田地域広域連合において発令する基準をさだめています。



長和町火入れに関する条例(平成17年条例第125条) 第14条 火入れ者及び火入れ責任者は、火入れの許可の期間中であっても、強風注意報、乾燥注意報若しくは林野火災に関する注意報が発表され、又は火災警報が発令された場合は、火入れを行ってはならない。

社会文教常任委員会審査結果報告



阿部 由紀子 委員長

社会文教常任委員会

委員長／阿部 由紀子
副委員長／城内 たき子
委員／諫山 三武
龍野 一幸
田福 光規

社会文教常任委員会を12月16日(火)に開催し、条例案5件、補正予算案4件、上田広域連合規約変更、陳情についての審査を行いました。

令和7年度長和町一般会計補正予算(第4号)について

住民生活課

■ 生ごみ処理施設運営事業55万円の増

問 P F A S の追跡調査について、配布できずに止まっている堆肥の現状と今後の見通しは。

答 来年1月の全員協議会にて詳細な説明を行う予定です。

問 それぞれ何人増加したか。また、一人当たりの金額はいくらか。

答 腎臓機能障害は一人当たり、月8千円が上限で3名分、障がい者施設通所費は、月にかかった費用の1/2以内で5千円が上限で9名分である。

問 それぞれ何人増加したか。また、一人当たりの金額はいくらか。

答 腎臓機能障害は一人当たり、月8千円が上限で3名分、障がい者施設通所費は、月にかかった費用の1/2以内で5千円が上限で9名分である。

問 それぞれ何人増加したか。また、一人当たりの金額はいくらか。

答 腎臓機能障害は一人当たり、月8千円が上限で3名分、障がい者施設通所費は、月にかかった費用の1/2以内で5千円が上限で9名分である。

問 それぞれ何人増加したか。また、一人当たりの金額はいくらか。

答 腎臓機能障害は一人当たり、月8千円が上限で3名分、障がい者施設通所費は、月にかかった費用の1/2以内で5千円が上限で9名分である。

保健福祉課

■ 腎臓機能障害者通院費補助金14万4千円、障がい者施設通所費補助金27万円、障がい者居宅サービス支援費50万円の増額。

問 当初予算から増額となった理由は。 **答** 発注者である樫の木福祉会と町、建設

福祉企業センター、障がい者等福祉施設

■ 設備事業補助金50万5千円の増額

問 当初予算から増額となった理由は。 **答** 発注者である樫の木福祉会と町、建設

管理を行う専門家や施工業者と行う会議の中で、障害のある方が施設を利用するには、床暖房と避難用滑り台が必要であり、安全性・利便性などを考慮しての増工である。

教育課

■ 古町コミュニティセンター音響設備に関する委託料36万3千円

問 建築されて間もないと思うが補償で修理は出来ないのか。 **答** 今回の修理は人為的な操作ミスによるもので故障ではないため補償対象にはならない。

令和7年度長和町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

■ 規定の予算総額に866万円を追加し、予算総額は1億2,055万5千円に。

問 国の示す標準化への移行は完了しているか。 **答** 住基・印鑑証明が令和8年2月24日、

後期高齢者医療が来年度に持ち越し、国民健康保険については標準化への移行は令和6年度に完了している。税務係に係るものは、令和8年10月1日である。

令和8年2月24日、

上田地域広域連合規約の変更について

問 上田市秋和に建設される統合型クリーンセンターの全体事業費は368億7千万円、長和町の負担分は13億600万円。 **答** 全体事業費における10%分を、それぞれの市町村が均等に負担するという形になっている。

問 4市町村がそれぞれ10%ずつ受け持ち40%分を負担するということか。



令和7年第3回臨時会（初議会）審議結果

改選後の議会による初の本会議となる令和7年長和町議会第3回臨時会が12月1日（月）に開催され、議長選挙等の議会構成について、および人事案3件について審議され、すべて**全員賛成**で可決・同意されました。審議された主な議案と内容は次のとおりです。

◇人事案（3件）

- ・長和町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて… 齋藤 毅氏（新任）
- ・監査委員の選任につき同意を求めることについて……………丸山 輝人氏（新任）
- ・監査委員の選任につき同意を求めることについて……………龍野 一幸氏（新任）

令和7年第4回定例会 審議結果

令和7年長和町議会第4回定例会において審議された議案は、すべて**全員賛成**で可決・同意されました。審議された主な議案と内容は次のとおりです。

◇報告（5件）

- ・例月出納検査結果報告
- ・指定管理委託監査報告
- ・株式会社長和町振興公社第27期決算について
- ・株式会社長和町振興公社第28期事業計画について
- ・長和町教育委員会の点検・評価報告

◇発委（1件）

- ・長和町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- ★長野県人事委員会の職員の給与等に関する報告及び勧告を受け、議員の期末手当を0.05月分引き上げ年間の支給率を100分の175に改正。また、議員の旅費に関する規定の一部を職員の旅費改正に準じて改正。

◇条例（8件）

- ・長和町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ★長野県人事委員会の勧告を受け、期末手当率を2.525月、勤勉手当率を2.125月、合計4.65月に改正し、行政職給料を平均約3.25%増額する給与改定。
- ・長和町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
- ★近年の物価高騰等を鑑み、宿泊を伴う出張の際の宿泊料につき現在の状況に即した料金へと改正。
- ・長和町火入れに関する条例の一部を改正する条例
- ★土地の火入れ作業の中止の基準に、林野火災注意報が発令された場合も要件として加えること、また、異常乾燥注意報を乾燥注意報という言葉に改める改正。

- ・長和町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ★児童福祉法の一部改正に伴い、放課後児童支援員の条件として、新たに地域限定保育士（決められた地域の中だけで働くことができる保育士）を加えること。放課後児童クラブにおける虐待案件について、通報の義務が発生することの改正。
- ・長和町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ★生後6ヶ月から満3歳未満で保育所などに通っていない子供の新たな通園制度として、こども誰でも通園制度が創設されたことにより、事業者等が乳児等通園支援事業を行う際、この条例に定める基準に適合するか審査し、認可するための基準条例。
- ・長和町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ★国の基準が改正されたことに伴い、集団保育の機会を提供するために設定する保育内容支援に係る連携施設の見直しや地域限定保育士の一般制度化等による改正。
- ・長和町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- ★国の基準が改正されたことに伴い、虐待等の禁止において、これまでの保育園職員のほか、職員が幼保連携型認定子供園及び幼稚園職員である場合の追加等の改正。
- ・長和町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ★令和8年1月1日の八十二銀行と長野銀行の合併に伴い名称が変更となることによる改正。

◇補正予算案（5件）

- ・令和7年度長和町一般会計補正予算（第4号）
- ・令和7年度長和町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）
- ・令和7年度長和町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ・令和7年度長和町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- ・令和7年度長和町観光施設事業特別会計補正予算（第2号）

◇意見書案（1件）

- ・診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書

◇人事案（1件）

- ・副町長の選任につき同意を求めることについて…清水 英利氏（新任）

◇その他

- ・上田地域広域連合規約の変更について
- ・選挙管理委員及び選挙管理委員補充員の選挙について
選挙管理委員会の委員及び補充員は地方公共団体の議会において選挙することとされており、本議会において議長の指名推薦により選挙を行いました。選挙管理委員に、丸山 高裕さん、小池 充さん、宮谷 昇さん、羽田 作衛さんが、同補充員に、西依 清治さん、荻原 正則さん、柳澤 孝一さん、今井 つや子さんが選出されました。

1, 田福^{たふく} 光規^{こうき} 議員 …… P10

- (1) 上下水道料金25%引き上げについて
- (2) 移住定住の促進、空家バンクについて

2, 阿部^{あべ} 由紀子^{ゆきこ} 議員 …… P11

- (1) 命を守る為の熊への対策を
- (2) 作物や生活を守る為の獣害対策

3, 荻野^{おぎの} 友一^{ともかず} 議員 …… P12

- (1) ふるさと納税について
- (2) 長和町長期総合計画について

4, 高田^{たかだ} 傑^{すぐる} 議員 …… P13

- (1) 長和町の観光について
- (2) 町の空き家問題について

5, 諫山^{いさやま} 三武^{さぶ} 議員 …… P14

- (1) 保育園における主食持参について
- (2) 国道142号沿いの沿道管理について

6, 佐藤^{さとう} 恵一^{けいいち} 議員 …… P15

- (1) 道路の草刈り等の維持管理について
- (2) 景観維持施策について

7, 龍野^{たつの} 一幸^{かずゆき} 議員 …… P16

- (1) NEXT VISION VIについて
- (2) 投票率について

8, 城内^{じょうない} たき子 議員 …… P17

- (1) 活性化施設「蔵」について
- (2) シェア型移住体験施設「NAU」について

質一般

8人の議員が 町政を問う

12月定例会では、12月12日(金)と15日(月)に一般質問が行われ、8人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。「議会だより」では、紙面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約した原稿を掲載しています。



田福 光規
議員

上下水道料金25%引き上げについて

一般会計繰入れ、町民負担軽減を！

町財政が非常に厳しい為、考えていません。

問 2人世帯で25%の値上げとなれば、月の利用料金は約1万円、月2500円、年3万円もの値上げになってしまいます。

「町民アンケート」では、上下水道料金の25%値上げ、賛成0%、諸物価高騰の最中、反対41%、上げ幅が大きすぎる37%、まず、説明してほしい21%という結果でした。諸物価高騰の最中、値上

げ分の総額、あるいはその半額でも一般会計で繰入れ、町民の負担を少なくする事の検討を。

答 町長の水道料金は、近隣他市町村と比べ安い料金設定です。しかし、今のままでは施設の老朽化対策が進まない状況です。町の財政が非常に厳しい中、更に一般会計からの繰入金額を増やす事は、現在、考えていません。

上下水道事業審議会で議論し答申を頂きました。

今後、料金改定の条例案を提出させて頂き、その後、町広報やホームページ等で町民の皆様へ周知を行う予定です。その過程で、料金改定の町民説明会の開催を検討します。

問 今後の上下水道料金の値上げに関する予定は？

答 産業建設課長 来年3月議会に値上げ条例案を提出し、4ヶ月の周知期間を経て、実施予定です。

問 令和4年度までの料金値上げシミュレーションでは、35年間、5年毎に15%25%の値上げを続けていき、35年後には現行の45.5%、4.55倍

になるとい試算になっています。現在の水道料

「水道事業懇談・説明会」の開催を！

― 値上げ条例の決定後、検討します。

問 「町民アンケート」でも、21%の方が「まず、説明してほしい」との意見を寄せられています。予算編成前に、「水道事業懇

談・説明会」の開催を。産業建設課長 料金改定は、町議会議員、住民及び企業の代表者、また学識経験者の方で構成した

談・説明会」の開催を。産業建設課長 料金改定は、町議会議員、住民及び企業の代表者、また学識経験者の方で構成した

識経験者の方で構成した



答 産業建設課長 町は、上下水道審議会の答申に沿った形で料金改定を考えています。また、現在の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、負担の軽減に努めてまいりたいと検討しています。

金は、2人世帯の方で月約1万円ですので、35年後には月4万5500円もの料金になってしまいます。水道料金を払えない世帯が多数生まれる事態が想定されます。上下水道料金25%引き上げの見直し・再検討を要望します。



阿部 由紀子
議員

命を守る為の熊への対策を

クマ出没により鹿柵点検も困難に

県マニュアルに準じ周知を徹底

問 町内のクマの出没は実際にどのようなものだったか。

答 今年の日撃情報は計4件である。

例年の目撃情報は5〜6件程度で今年特に多いという状況ではない。

問 他の自治体では、赤外線ドローンやAI自動撮影カメラを取り入れ、通報時に職員が危険な現場へ入らず生息状況を確認できる体制を整えている。長和町でも有効なのではないか。

答 上小地域のクマ対策会議の協議内容等も踏まえ検討していきたい。

改正「鳥獣保護管理法」で市街地のクマに対して町長判断での緊急銃猟が可能となったが町ではど

のような準備を進めているか。

答 産業振興課長 環境省の緊急銃猟ガイドラインの内容に準拠し現在作成の準備をしているが慎重かつ確かな運用が求められる。

問 活用されていない果樹

(柿、栗など)があれば、餌場になるので収穫をするか伐採を促すなどの周知を進めていただきたい。

クマ対策につながるような情報の周知についても今後検討していく。

地域猫への理解と仕組みづくりをHP等での広報活動を継続していく

問 TNRの実績は。

答 令和2年度は0、令和3年度は15匹、令和4年度は79匹、令和5年度は26匹、令和6年度は20匹である。令和7年度は11月末時点で計10匹の申請がある。

地域猫活動は、無秩序な繁殖行動を防ぎ、不幸

になる猫を一匹でも減らす活動である。

問 さくらねこ活動を行っていた方の死去や、餌やりをしていた方の転居に

より、対応に困った事例があった。

TNRや地域猫活動は、かわいそうな猫を助けた人も、野良猫のふん尿・鳴き声で迷惑を受けている人も、共に地域の問題として取り組む活動である。

個人が一人で背負い込めないような仕組みづくりはできないか。

答 地域猫活動は、行政・地域住民・ボランティアの三者合意が原則で地域が

見守ることが前提にある。餌やりさんだけが責任を負わないよう、引き続き広報活動に取り組んでいく。

★ 語句解説 ★

問 「TNR」とは。

答 Trap (捕獲)

Neutral (不妊・去勢)

Return (元の場所に戻す)

の頭文字を取ったもので、地域猫の殺処分ゼロを目指すための管理手法。



公益財団法人「どつぶつ基金」ポスター



萩野 友一
議員

ふるさと納税について

ふるさと納税をどう増収するか

特任室を中心に協働で取り組む

問 ふるさと納税は地方自治体にとって重要な財源になりつつあるが、今年四月に創設された特別任務室設立の経緯と目的についてお尋ねします。

答 町長 ふるさと納税は自分の生まれ故郷や応援したい自治体に、寄付金という形で直接的に応援・貢献できる制度です。現在では全国で二兆円を超える産業になっています。厳しい財政状況下において、財源の確保が喫緊の課題となつている中で特別任務室を中心として、関係する諸機関などとの連携と創意工夫によりふるさと納税の増収に取り組むことが課題だと考えています。

問 ふるさと納税特別任務室が設置され、長和町にお

いて、ふるさと納税に対してどのように対処し、厳しい町財政の救済策の一つとして収入増をめざすのか。

答 ふるさと納税特別任務室長 ふるさと納税の運用について、新たな返礼品事業者の開拓やふるさと納税ポータルサイト運用拡大などにより寄付額の増額を図るとともに、町のプロジェクトに繋げ相乗効果による地域産業の活性化への取り組みを積極的に推進していきたい。

問 全国でふるさと納税を活用する動きが激しくなつている中で、この制度を効果的に活用するために、長和町全体で寄付金の増収を図る施策が必要になるが、行政・住民協働の活動のための具体的な施

策は何を考えているのか。

答 町長 奨励品認定制度や既存事業者との綿密な連携を図ると共に、各般にわたり取り組みを充実させたい。また、ガバメントクラウドファンディングを通じて町を挙げた取り組みが住民協働に繋がると考える。町民が長和町の魅力を再認識し、ふるさと納税を通じて、町民が愛する自らのふるさとを町民自身で町外へ魅力発信することを目指したい。

長期総合計画の達成度はどうか 公約はおおむね実施できている

問 第一次長和町長期総合計画の後期計画も最後の年度を迎え、総合計画の今年度までの達成度について町長の考えをお尋ねします。

答 町長 長期総合計画とは、長期的な展望に基づいて、将来目標を示すとともに、行政運営を総合的かつ計画的に行うため、各分野における計画や事業の指針を

明らかにして、町政運営の最も基本となるものです。四つの基本目標◇地域産業の振興◇働いてみたくなるまち◇観光・交流文化の構築◇ひとの流れを呼び込むまち◇結婚・妊娠・出産・育児・子育てを切れ目なく支援する環境を整え、子育てしたくなるまち◇安全・安心な環境の確保で、暮らし続けたいなるまち。これらを達成できるよう事業を実施していく事になります。調整不足、財政事情で実施を見送る事業もあつたが、公約で上げた施策はおおむね実施できていると考えています。



ふるさと納税



高田 傑
議員

長和町の観光について

長和町の観光推進体制の方向性について

長和町観光振興計画（案）の策定計画へ

問 観光産業は、長和町における外貨獲得や地域ブランドの向上の要となるが、現状の観光協会の体制では、十分なポテンシャルが活かしきれいていない部分もあると感じている。

町として、観光推進における現状の課題をどのように認識しているのか。

答 **産業建設課長** 長和町には、日本遺産に認定された黒耀石文化と体験型ミュージアム、中山道における「和田宿」「長久保宿」、ブランシュたかやまスキーリゾート、長門牧場、「マルメロの駅ながと」「和田宿ステーション」という2つの道の駅、「やすらぎの湯」「ふれあいの湯」という2つの日帰り温泉施設、個性豊かなペンション群や

それぞれ情緒を残した宿泊施設、そして様々なニーズに合わせた別荘地など、本物かつ価値の高い観光資源を有している。

しかしながら、これらの観光資源が、町内に「点在」しており、個々に観光誘客活動等を行っている為、効果的かつ効率的な誘客、観光消費等に繋がっていない状況であることが課題だと考えている。

問 行政・観光協会・地域事業者（者）・住民が一体となつて観光を連携・推進していく為には、体制強化、役割分担の明確化、協働の仕組みづくりが求められると考える。

長和町の今後の観光推進体制について、町として現時点でどのような考えか。

答 **産業建設課長** 町は観光協会と連携し、本年度より「点在」する観光資源を「面」として捉え、長和町の観光行政における「指針」や「目標」を定め、未来の長和町へ繋げる為の「長和町観光振興計画（案）」の原案作りを進め

ている。令和7年度中に原案を策定し、令和8年度には、その原案を基に、町及び観光に関係する団体、町内外の観光事業者、長和町を訪れ「空き家対策」「山村再生」等に取り組み学生、長和町へ移住された皆様、そして町民の皆様が、「長和町の観光」をテーマに様々な意見を出し合える場を設ける。長和町の観光を未来へ繋げる為の様々なアイデアを集約しながら、「長和町観光振興計画（案）」を策定に向け取り組みたいと考えている。



美しい塔



諫山 三武
議員

保育園における主食持参について

保育園の主食持参制度は妥当か

保護者の意向調査を行いたい

問 長和町の保育園では、週2日は園で主食を提供し、週3日は家庭から白米を持参する主食持参制度が続いている。令和4年「保育園の利用に関するアンケート」では62・5%が毎日主食を園で提供してほしいと回答。核家族化や共働き世帯、移住者の増加など社会環境の変化の中で制度が保護者の負担となっている実態が示されている。現在、完全給食が実施されていない理由は。

答 保健福祉課長 アンケートでは「有料でも提供してもらいたい」25%、「無料であれば提供してもらいたい有料になるなら現行どおりでよい」37・5%、「現行どおりでよい」

26・3%、「毎日持参でよい」6・3%だった。毎日主食提供を望む声は62・5%だが、費用負担を考慮し、現行どおりの提供としている。

問 主食持参制度を今後も継続する方針なのか。

答 主食持参は子どもの成長や体調、その日の食欲に応じた量の調整ができ、保護者が食事内容を把握しやすい利点がある。弁当を包む、縛るといった行為が手先の発達につながる面もある。今後は食パンなど主食の持参についても保護者の意見を伺いながら検討したい。

問 米不足など供給不安が再発した場合の対応は。

答 代替食の持参や大規模農家とのマッチングなど

状況に応じた対応を検討したい。

問 完全給食化に必要な体制や費用は。

答 水曜日をパン又は麺の日とし、週4日をごはん提供とした場合、令和6年度の給食提供日数で試算すると、3歳以上児69人分と検食を含む食材費は年間約67万円。毎日主食を提供する場合、調理・配膳・食器洗浄など業務が増える。各園に半日勤務の調理員を1名ずつ増員すると人件費は1名150万円（2名で300万円）。合計約367万円が必要。令和6年度の保育園全体の食材費と調理用衛生品の歳出合計は1334万円。これに光熱水費や栄養士・調理員6

名分の人件費が加わる。

問 完全給食化の将来効果をどう評価するか。

答 町では給食費や医療費の無償化など子育て支援に取り組んでいる。毎日

の主食提供には財政面と保護者皆様の統一した方向性が必要のため、意向調査などにより保護者の考えやニーズを伺いたい。

主食持参の割合が高い都道府県ワースト10	市区町村数 (公立保育施設有)	主食持ち込みあり		主食持ち込みなし		分らない・各園判断	
		市町村数	%	市町村数	%	市町村数	%
全国合計	1414	416	29.4%	790	55.9%	208	14.7%
1位 富山県	14	11	78.6%	2	14.3%	1	7.1%
1位 佐賀県	14	11	78.6%	2	14.3%	1	7.1%
3位 福井県	16	11	68.8%	5	31.3%	0	0.0%
4位 山形県	27	18	66.7%	6	22.2%	3	11.1%
5位 長野県	77	49	63.6%	19	24.7%	9	11.7%
5位 熊本県	22	14	63.6%	4	18.2%	4	18.2%
7位 石川県	18	10	55.6%	7	38.9%	1	5.6%
8位 新潟県	26	14	53.8%	9	34.6%	3	11.5%
9位 広島県	19	10	52.6%	7	36.8%	2	10.5%
10位 岩手県	27	14	51.9%	7	25.9%	6	22.2%

公立保育施設がある全国1414の市区町村の保育課に対して行った電話調査の結果、長野県は主食持参の割合が高い都道府県ワースト10の5位だった(2025年、BABY JOB株式会社)



佐藤 恵一
議員

道路の草刈り等の維持管理について

国道152号線(役場前)沿線の雑草、ごみ放置

適正な維持管理に努めたい

問 国道152号線沿線(特に役場前)を幹線エリアとして位置付けた景観形成の具体的な取り組み内容と今後の計画についてはどうなっているか。

答 画が目指す将来像と必ずしも整合していない点を認識している。除草・清掃活動の実施体制の強化をはかるとともに関係団体との協働による沿道美化活動を促進するなど適正な維持管理に努めたい。

問 町長 長和町景観計画において、国道152号線武石橋から大和橋交差点、国道254号線依田窪病院入口交差点から五反田入口付近までの沿道は、来訪者に対して本町の第一印象を与える基本的空間として景観上の一般地域に指定されている。同地区の景観形成の基本理念は「にぎわいと生活の豊かさを味わえる景観づくり」としている。

答 住民生活課長 指摘の沿道における雑草やごみの放置等現状として景観計画

農地、法面にカバークロップ活用の実証実験を地域の皆様と調整を図りながら推進したい

問 カバークロップ(被覆作物)を活用した景観形成と農地管理のために実証実験の実施を提案

答 草刈り等の負担軽減になるが管理が不要となるわけではない。課題解決にあたっては農業者のみならず、地域ぐるみの機運の醸成や住民の皆様の理解と持続的な参画が不可欠。

答 産業建設課長 カバークロップのメリットは(草刈りの軽減、景観形成等)多岐にわたると認識しているが、播種から定着までに労力と時間がかかり安定した被覆まで2〜3年を要する。課題解決に向けた技術の実証や確立が重要である。

*長和町景観計画(令和6年策定) ①建物等の形態高さ等の調和を図る指導 ②沿道の植栽環境の向上のための適切な管理を促す。



国道152号線 沿線の雑草



龍野 一幸
議員

NEXT VISION MESSAGE

返済不要助成金の発掘と有効活用を 関係部署で確認し、しっかりと対応して行く

問 「住民の安全の為消防団活動を支援する」の公約がある。消防団からの意見は、財政難という事で必要資材や活動費が不足しがち、である。そこで宝くじ助成金や国の補助金をもって活用し、機動力の向上や要望に対処できないかと言つものである。

答 未使用の車両や詰所は無駄な費用と捉え、どの程度あり、維持費と今後のそれらの対応を確認する。

問 宝くじの一般コミュニティ助成金は限度が250万円である。ここ数年はそれをはるかに下回る申請だが、なぜ有効に使わないのか事由を聞く。

答 総務課長 車輛1台と詰所が2か所ある。年間23万円の維持費がかかっており、所轄する分団に確認し、廃車や廃止を検討して行く。

問 財政難であるならば、防災関係に限らず助成金や補助金の申請に真剣に取り組む専任者の必要性を強く感じるが。

答 総務課長 財政管財係、企画政策係で特定財源の活用について研究・検討を行っている。今後もしっかりと対応して行く。

問 「依田窪病院・老人保健施設の安定経営を目指す」とあるが、当町と上田市との負担率は人口割で決められている。当町がおよそ65%と多い。武石地区の人口を基準にしたためだが、入院患者数はここ数年平均、当町25・5%、上田市49・7%の利用割合である。下り搬送強化などで依田窪病院は重要な役割を担う。負担率改定の検討をすべきだが。

問 「魅力ある保育園・小中学校の運営」とある。人口減少対策に絡めたものか。田舎ならではの体験学習など町のホームページ(以下HP)の前面に出すなど、教育面から当町のPRを図つたらどうか。

答 保健福祉課長 患者数割を以前から協議しているが困難な状況。しかし、運営の状況も変わってきており、上小地域には不可欠な施設として、引き続き協議を行つて行く。

問 「魅力ある保育園・小中学校の運営」とある。人口減少対策に絡めたものか。田舎ならではの体験学習など町のホームページ(以下HP)の前面に出すなど、教育面から当町のPRを図つたらどうか。

答 教育課長 小学校のHPでは体験学習などの記事は載せているが、町のHPも検証し改善を図っていく。

問 「魅力ある保育園・小中学校の運営」とある。人口減少対策に絡めたものか。田舎ならではの体験学習など町のホームページ(以下HP)の前面に出すなど、教育面から当町のPRを図つたらどうか。

答 教育課長 小学校のHPでは体験学習などの記事は載せているが、町のHPも検証し改善を図っていく。



助成事業項目	事業実施主体	主な実績	限度額(万円)
一般コミュニティ	町・自治会・区	エアコン・複合機・草刈り機 テント・除雪機・机・いす等	100 ~ 250
コミュニティセンター	町・自治会・区		2,000
地域防災組織育成	町 自主防災組織 他	除雪機・蓄電器・投光器・AED・ ヘルメット・防寒着・長靴等	30 ~ 200
青少年健全育成	町・町認可コミュニティ組織	子供にちなんだ行事等	30 ~ 100
地域づくり	町(その他)	バリアフリー対応車両・遊具など 祭・式典など	200 ~ 1000
地域の芸術環境づくり	町・指定管理者・実行委員会他	芸術祭や音楽祭など	~ 500
地域国際化推進	町認可コミュニティ 国際交流組織	姉妹都市との交流事業など	~ 200

長野県 宝くじコミュニティ助成



城内 たき子
議員

活性化施設「蔵」について

「蔵」は活性化に役立っているか

貢献度も大きく、公益に資する施設である

問 ここで言う「活性化」とは何をどうする事か。

答 産業建設課長 農産物等を利用した特産品の開発等により農業・地場産業を振興すること、併せて地域での文化活動を通じて農業農村の活性化を図ること、である。

問 何に使われてきたか。

答 産業建設課長 開設時は「味工房やまぶき」による豆腐・味噌・ジャム等の製造・研究拠点。その後会員の高齢化や農作物加工を取り巻く状況変化により利用が途絶えてしまった。現在はJ A女性グループや地域の農業者、加工製造を手掛ける住民に利用されている。またコミュニティ部門として会議・音楽活動等に

利用されている。

問 活性化に役立ったか。

答 産業建設課長 地域への貢献度も大きく、公益に資する施設であると認識している。

問 「蔵」の他に活性化をうたった施設はあるか。

答 産業建設課長 和田に「長和町女性・若者等活動促進施設」がある。女性及び若者農業者の交流や特産品の開発により農業農村の活性化を図る事を目的としている。

問 これらは空き施設化となる懸念はないか。

答 産業建設課長 利用者の高齢化

等のため、今後の利活用が不透明となる懸念がある。新たな利活用の促進を図りたい。施設そのものの老朽化が進めば、施設の統廃合も含め最適な利活用の形態の検討が必要と考えられる。



活性化施設「蔵」

長和町シェア型移住体験施設NAUについて

施設利用から移住者増加につなげられるか 交流イベント開催予定

問 体験施設誕生の経緯は。

答 町長 移住促進のため平成30年7月から「長和町田舎暮らし体験住宅」の利用を開始した。令和5年4月から施設の2階をシェアハウスとして活用し、現在の「NAU」としてリニューアルしている。施設管理は地域おこし協力隊OGが合同会社ナワメ社として行っている。

問 利用状況は。

答 総合政策課長 現在までの短期利用件数は69件、長期利用件数は9件。施設利用から移住者増加につなげるための施策は。

答 総合政策課長 「NAU」は移住を具体的に検討している方に向けた施設である。利用者と地域住民の交流機会やつながりを持つる仕組みづくりやイベントをナワメ社とともに企画・推進中。



移住体験施設「NAU」

議会懇談会
委員会視察研修
広域組合議会
活動報告



龍野 一幸 議員

議会報告懇談会

長和のあす
住民と町議で
議論

11月15日(土) 令和7年度
第2回、議会報告懇談会を、
午前、大門基幹集落セン

▼午後の部 町民ホール(抜粋)
◇議会・議員への要望 町民
が意見を言い易いインタ

◇人口問題 空き家の荷物の
片づけ費用に補助金制度。
空き家内部の3D可視化の
提案、水、祭り等PRの強
化を求めた。◇光が見える
町 商業や産業・農業など
各方面でのキーマンとハブ
人材の発見、擁立をもって
町に繋いで行く必要性。

ター・午後、町民ホールで
開催した。2会場とも、こ
の度の選挙で当選された4
名も参加した。
渡辺決算特別委員長より、令
和6年度一般会計決算につ
いての概要報告のあと、参
加町民主体のワークショッ
プ形式での懇談会を行っ
た。大テーマの「町に望む
こと・議会に希むこと・議
員にのぞむこと」をより具
体的に突き詰めるべく、グ
ループ毎に小テーマを設定
し討議した。

ネット・サイトの開設や、相
談しやすい窓口開設の要望。
◇子育てするなら長和町 町
民が集まるイベントを多く
し、散在する公園や公共施
設を集約化により、子供が
安心して遊べる場所の確保
を、という訴え。

を望む声が挙った。
◇移住促進 規制が多すぎて
豊かな自然の魅力が半減し
ている。禁止事項を精査すべ
き。企業誘致が困難であれ
ばベッドタウン化に方向転
換する事も必要ではないか。
他にも、議会答弁の機械
的な原稿棒読みへの批判、
スキー場経営や医療福祉な
どの面で、町民の生活にし
わ寄せが来ないよう、しっ
かり見張れ、などの叱咤激

励も頂戴した。一方、こん
なに有意義な懇談会をもつ
と早く知りたかった。告知
方法を一考すべきではない
か、といった有難いご意見
を賜った。
町民の皆様と普段より近
い距離で、様々な角度でお
知恵や発想、訴えを聞く事
が出来、行政に繋ぎ改善を
働きかける役目である事、
責任の重さを益々実感した。



現職町議(右から2人目)が進行役となり、
町民が意見を出し合った

長和のあす 住民と町議で議論
幅広い世代「移住」「議会」などテーマに

今月末に任期満了を迎える
長和町議会は、議会の在り
方について町民と対話する
議会報告懇談会を町内で開
いた。12月からの新たな任
期を前に町民の望みを把握
し、一般質問などに生かす狙
い。現職町議7人、10月の町
議選で初当選した新人4人
が、30、70代の町民約20人と
膝を付き合わせて意見を出し
合った。
5、6人の班に分かれ、各
班で現職が進行役を務めた。
「町に望むこと」を1人五つ
ずつ付箋に書き出し、模造紙
に「移住」「生活」「議会」
などと分類して貼った。
班で最重要テーマを決め、
解決案を1人五つずつ書いた。
「移住促進」を選んだ班
では「空き家の整備」「首都
圏にPRし知名度を上げる」
「家事労働のサポート体制を
つくる」との意見が出た。
全体発表では「議会は何を
やっているか見えにくい。議
会報を早く出し、ネットでも
意見を募ってほしい」「町の
職員数を同規模自治体と比較
しながら適正化してほしい」
といった提案が出た。
参加した諫山千陽さん(34)
は「意見を出し合わないと見
えてこない課題があった。議
論して方向性を見いだすプロ
セスは有意義」。司会を務め
た田福光規議員(74)は「出た
意見をまとめ、議員全員でも
う一度目を通したい。若い世
代の参加もあり、活発な議論
ができた」と話した。

令和七年十一月二十六日付 信濃毎日新聞に掲載された記事

長和町商工会・議会議員懇談会

地域事業者の 持続的発展と 支援体制強化



佐藤 恵一 議員

より「地方経済は高齢化と人口減少が進んでおり、加えて円安による原材料費や仕入価格などコスト高、物価高による個人消費の落ち込みが経営において悪影響が出始めているが、策定した「第2期商工会マスタープラン」により地域事業者が持続的発展と事業継続が図れるよう着実な事業者支援体制に力をいれている」との挨拶がありました。

懇談会の内容は長和町商工会から議会へ①議会への要望書について②商工会の現況について③青年部、女性部の活動について説明及び要望をお聞きした後、議会からは議会の新体制及び議会の現状と課題について説明し意見交換を行いました。

12月10日（水）長和町商工会・議会議員懇談会を長和町役場会議室において開催。商工会より中原商工会長、武井・竹内副会長、佐藤青年部長、森田女性部長、赤尾事務局長、小林経営指導員、議会からは原田議長、他議会議員9名が出席しました。

会議冒頭、中原商工会長

長和町商工会、会員事業者の現況などをお聞きしながら直接意見交換ができた有意義な懇談会となりました。来年は長和町商工会合併20周年を迎えるにあたり記念行事を予定されているとのこと。長和町×長和町商工会×長和町議会の協働による地域経済の底上げ（観光・農業・小規模事業者等）、持続可能な財政・地域運営が重要であると認識した懇談会となりました。



長和町商工会との懇談会

国保依田窪病院院長・議会議員懇談会

地域医療と 介護の未来を 考える



阿部 由紀子 議員

プが、この地域でも課題となつていきます。

依田窪病院は長和町と上田市の組合立で、病院・老健・訪問看護・居宅支援の4事業を担い地域医療を支えています。救急体制では、症状に応じて信州上田医療センターへ搬送する「上り搬送」と、状態が安定した患者を地域で受け入れる「下り搬送」を組み合わせ、限られた医療資源の中で対応しているとの説明でした。

また、医師の働き方改革で時間外労働の上限が設けられ、医師確保がより難しくなる懸念も示されましたが、長野県のグランドデザインに沿い地域の役割分担と連携を推進していく事で、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を守る事ができることも語られ、未来につながる地域医療への希望が示されました。

11月14日（金）、国保依田窪病院との懇談会が開催され、城下智院長より、「地域医療と介護の現状について」説明会がありました。県内では人口が長野市・松本市に集中し、それ以外の地域では人口減少と高齢化が進んでいます。一方で生産年齢人口が減り続け、「2025年問題」とされる医療・介護需要とのギャップ

マウント長和・議会議員懇談会

スキー場の魅力向上を考える



諫山 三武 議員

■12月11日（木）、ブランシユたかやまスキー場を運営する株式会社マウント長和と町議会との懇談会を開催。事業の現状や今後の運営方針について説明を受け、新たな取り組みや安全対策などについて意見交換が行われました。

■昨シーズンは天候に恵まれ、スキー場の利用状況が改善したことや、夏季のキャンプ事業が安定して推移していることが報告され、会社全体の経営状況は改善傾向にあるとの説明がありました。



マウント長和との懇談会

■一方で、リフトや各種設備の老朽化が進んでおり、安全な営業を続けるためには、今後にも計画的な修繕や設備投資が必要であることが示されました。今年度から導入されたスノーボード利用については、安全対策を講じたうえで試験的に実施され、大きな事故は発生していないとのことでした。

■町出身のオリンピック・藤森由佳選手をアンバサダーに迎え、情報発信やイベントを通じてスキー場の魅力向上を図る取り組みについても説明がありました。あわせて、コロナ禍での借入金の返済状況や町への施設使用料について質疑が行われました。

長和町振興公社・議会議員懇談会

新たな温泉施設の未来を考える



高田 傑 議員

■12月11日（木）株式会社長和町振興公社と町議会との懇談会が、役場の第1・2

会議室にて開催されました。振興公社より、令和7年度の営業実績と決算見込について報告され、来年度の計画等について懇談会を行いました。

■入館者実績と売上実績について

やすらぎの湯は、前年比115・3%、ふれあいの湯は106・3%と両施設共に利用者が伸び両施設売上合計、1億3804万8千円となり前年比118・6%となる見込み。

■要因としては、コロナ禍も明け旅行者が増加していることや、武石地区のうつくしの湯の休館による来客数の増加が要因との分析だった。長和町の重要な観光産業である温泉施設の更なる磨き上げを期待したいです。



やすらぎの湯

■地域おこし協力隊による魅力ある温泉施設に向けての活動報告

令和7年1月から地域おこし協力隊として着任した川口隊員より、温泉を核とした誘客事業の活動報告をして頂きました。「温泉のある暮らし」を醸成していきたいと新しい温泉施設の活用企画などとても前向きな活動をされており今後の活動に期待したいです。

マルメロエイト・議会議員懇談会

更なる道の駅の活性化を期待する



荻野 友一 議員

道の駅のさらなる活性化をめざして

12月12日（金）長和町役場二階議場にて、株式会社マルメロエイトと長和町議会議員の懇談会が行われました。株式会社マルメロエイトからは中原代表取締役、齋藤常務取締役、芳澤執行役員に出席いた

き、長和町道の駅内の「マルシェ黒耀」の運営状況について説明をいただきました。「マルシェ黒耀」は令和2年6月に開所され令和3年度から令和6年度には売り上げは6割増しに成長しています。これも株式会社マルメロエイトの皆さんの努力の結晶と言えます。また、グーグルの口コミ評価でも3・9の評価があり、他の道の駅の産直施設と比べても高い評価を受けているとのこと。しかし、

- 気候変動による農作物収穫量の増減による安定経営への影響
 - 生産者組合の規模の縮小
 - 人手不足と人材不足からの人件費の高騰
 - 物価高による経費高騰
 - 冬季期間の利用客の減少
 - 設備の老朽化などにより経営的には厳しい時期を迎えている
- との意見をお聞きしました。町からは指定管理料をお支払いして経営の支えをしているわけですが、議会

としては町の財政難も考慮して、これからも「マルシェ黒耀」の発展をお願いしたい旨を株式会社マルメロエイトの役員の皆様にお伝えしました。



マルメロエイトとの懇談会

上田市長和町中学校組合議会

中学校の設備改善を延期



城内 たき子 議員

12月16日（火）、中学校組合議会・令和7年第1回臨時会が開催され、令和7年度一般会計補正予算について審議を行い、全員賛成で可決されました。また、長和町選出議員が改選されたことを受けて、新たな議長として阿部由紀子議員が、監査委員として龍野一幸議員が選任されました。

令和7年度一般会計補正予算について、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳

出それぞれ1978万5千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億5346万3千円とする。理由は補助金不採択となり、トイレ改修工事・LED照明工事・空調設備工事が来年度以降に延期となったためです。



組合立依田窪南部中学校校舎

令和13年度の稼働を目指す
統合ごみ焼却施設・資源循環型施設建設

■上田地域広域連合議会(渡辺久人前議員)

10月14日(火)から10月21日(火)の会期で令和7年10月上田地域広域連合議会定例会が開催され、令和6年度一般

会計及び特別会計の決算認定及び令和7年度一般会計、特別会計補正予算、条例改正案1件の審議が行われ、全ての議案

1. 令和6年度上田地域広域連合会計別決算状況(単位:円)

会計別	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	2,652,601,000	2,670,779,669	2,405,274,522	265,505,147
ふるさと基金特別会計	125,349,000	143,804,579	110,997,400	32,807,179
介護保険特別会計	254,197,000	254,546,667	237,953,306	16,593,361
消防特別会計	2,904,198,460	2,905,267,490	2,849,217,942	56,049,548
小計	3,283,744,460	3,303,618,736	3,198,168,648	105,450,088
合計	5,936,345,460	5,974,398,405	5,603,443,170	370,955,235

が全員賛成で認定、可決されました。

1. 令和6年度上田地域広域連合会計別決算状況(左上表参照)

2. ふるさと基金の取り崩し経過及び経過当基金は平成17年度に総計(原資)20億3,900万円となり、平成21年度から上小地域医療再生計画、平成25年度から佐久医療センター施設整備、信州上田医療センター医療機器整備、令和元年度から8年度まで地域医療対策事業で活用及び活用を見込んでいます。

令和7年度末基金残高見込額は3億2,448万円である。

3. 資源循環型施設建設及び運営に係わる負担割合を定める規

約の変更について

令和13年度の稼働開始を目指すしている「統合ごみ焼却施設・資源循環型施設建設」に向けて、建設費や管理運営費の負担割合を定めた規約変更(8月の正副連合町会で決定)を予定しており、各市町村の12月議会に規約変更案を提出する予定です。

このように救急医療及び医療対策補助金、資源循環型施設建設・管理運営費用、広域消防負担金など

上田広域連合負担金は年々増加しています。長和町の負担割合は少ないものの、ふるさと基金分の拠出も見込まれますので今後、町の負担はさらに増加し財政への圧迫は避けられないでしょう。

議案第28号 依田窪医療福祉事務組合特別職の職員で

■一部事務組合議会報告(田福光規議員)

依田窪医療福祉事務組合議会



12月16日(火)、依田窪医療福祉事務組合議会・令和7年12月臨時会が開催されました。長和町選出

議員が改選されたことを受けて議長選挙が行われ、原田恵召議長が選出されました。

■議案第26号

依田窪医療福祉事務組合職員の旅費に関する条例の一部改正について

■以上、4つの条例の一部改正が全員賛成で承認されました。

■議案第30号

監査委員の任命につき同意を求めることについて

依田窪医療福祉事務組合議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

■議会より、田福光規議員が組合監査委員に選任されました。

■議案第28号

依田窪医療福祉事務組合特別職の職員で



議会報告懇談会のアンケート集計結果

令和7年度11月15日(土)に開催しました「議会報告懇談会」のアンケートを以下に紹介します。

【アンケート集計結果】

- アンケート集計数：17 (未回答項目あり)
- 年代別割合：10代・20代 (0)、30代 (2)、40代 (3)、50代 (1)、60代 (8)、70代 (3)
- 地区割合：和田 (4)、大門 (1) 長久保 (3)、古町 (9)
- 懇談会の開催時間：ちょうどよかった (1)、長かった (12)、短かった (2)
- 説明内容：わかりやすかった (7)、わかりにくかった (0)、どちらともいえない (7)

【報告懇談会】の感想・ご意見

- 参加者のみなさんの意見(思い)が多く、時間が足りないくらいに感じました。とても有意義な時間でした。
- 福祉支出は仕方ないが、補助金・事業への支出についてはその効果を検証するべきだと思います。
- 予算に関する発言を制止せずにはほ言いたいことを言わせていただきありがとうございました。
- 紙面では伝わらないことを中心に説明してほしい。

【ワークショップ】の感想・ご意見

- 他の町民のお話を聞いてよかった。自分の意見を伝える機会は少なく、このような機会があれば今後も参加したい。
- チームそれぞれちがった切口のアイデアが出されとても良いワークショップになったと思います。
- もっとたくさんの方が参加できるといいと思う。子連れで参加できるよう保育スペースがあるといいと思った。



次回開催予告

令和8年5月16日(土)に「令和8年度第1回議会報告懇談会」を午前・午後に1回ずつ予定しています(場所は未定/日程変更となる場合があります)。

詳細は、町ホームページ・ゆいねっと・Nナビ・第82号議会だよりでお知らせします。



第3期【議会モニター】募集!!

議会の運営や活動について、町民の皆様のご意見をお聞かせ下さい!

長和町議会では議会の活動や運営について、町民の皆様によりご意見をいただきたく「議会モニター」を募集します。次のとおり募集しますので、希望される方は期限までにお申し込みください。

➤ 任務 1：議会の傍聴

本会議や委員会の傍聴をしていただき、配布されるアンケートに記述式で回答する。ゆいネットの生中継による視聴でも結構です。

➤ 任務 2：議会だよりの閲覧

年4回発行する「議会だより」を閲覧して、配布されるアンケートに選択・記述式で回答する。

➤ 定員：10名以内

➤ 要件：長和町内に住所を有する者

➤ 任期：令和8年2月26日から1年間

➤ 申込期限：2月10日(火)まで

➤ 申込方法：所定の申込書を役場(議会事務局)へ提出(メール・ご持参・郵送)

※申込書は町公式ホームページからダウンロードしていただくか、議会事務局にてお受け取りください。

【申込先】長和町役場 議会事務局 ☎ 0268(75)2059 Email: gikai@town.nagawa.nagano.jp

長和町 あの人を訪ねて

— 第27回 —



かわぐち かずや
川口 和也 さん
(和田上組)

略歴・活動

兵庫県生まれ。民間企業での勤務を経て「地域づくり活動」を支援する中間支援組織NPOで行政との調整役として業務に従事する。誰もが一緒に楽しめる「ユニバーサルスポーツ」の普及活動も行う。

広報広聴常任委員会が町民の皆さまを訪ねて、意見や活動をお聞きします。

問 長和町でどのような活動されていますか？

答 令和7年1月より、地域おこし協力隊の温泉担当隊員として長和町に着任しました。普段は長和町振興公社に所属し、町内の温泉施設「ふれあいの湯」「やすらぎの湯」を拠点に活動を行っています。具体的には、温泉をテーマにした情報誌の制作やSNSで温泉施設の情報発信するなど誘客活動を行っています。

問 なぜ、長和町の地域おこし協力隊に？

答 色々とご縁が重なり、長和町の地域おこし協力隊としてお世話になることになりました。夏季休暇などを利用して長和町を訪れていたため、着任する前から長和町のことは良く知っていました。自然豊かな中山間地域でのゆつくりとした暮らしに憧れていたこともあり活動拠点を長和町に移すことに決めました。

問 長和町での暮らしの楽しみは？

答 色々と暮らしの楽しみはあります。今は、観光地や名所を巡ることを楽しみにしています。その他にも、長和町の美味しい野菜や果物を食べることに。夏場には地区のご近所さんが野菜を分けてくださるなど、ご近所さんとの会話や程よい距離感も暮らしの楽しみの一つです。



長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の考えなどを掲載しています。今号は、**龍野一幸** 議員です。

私の前職はホテル業。「おかえりなさい」で迎え、「行つてらっしゃい」でお見送りしました。「様」は使わなくてもいい、方言を使うのも自由。余計なサービスは不要、ゲストの動きを見て動け。目を見て話せ。それ以外マニュアル化はしませんでした。ホスピタリティを追求する上で邪魔でした。ロビーを走る子供には、「気をつけー!」、どの子も静止、親も笑顔で子に注意(当時)。母親の気持ちになったの「おもてなし」でした。ホスピタリティは対価を求めるものではありません。マニュアルは事務的になりがち。目・気・心配り、其々異なった配慮です。接遇は自分が楽しく思える事が大切では?・・・つづく

ながわまち 議会だより 広報広聴常任委員会

- 委員長 幸武規一
副委員長 龍野三光
委員 龍諫田 野山福藤 一三光恵 阿部由紀

■ 町政や議会、「議会だより」に関するご意見や感想をお寄せ下さい。

■ 長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp